

令和 8 年度 9 月号
学校だより



横浜市立今宿小学校



<今宿小学校学校教育目標>

☆☆育てたい「いまじゅくの子」☆☆

- い ○いきいきとした心と体をつくる子(体)
- ま ○学びをいかそうとする子(知)
- じ ○自分とみんなを大切にする子(徳)
- ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子(公)
- く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子(開)



であい

校長 藤巻 孝之

夏休み中、日本各地で発生した地震、豪雨、そして耐え難い酷暑。多くの方々が被害にあわれ、尊い命を、生活を奪われてしまいました。ご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復興のために、また防災のために何ができるかを一人ひとりが考え、実行していきたいと思います。

真新しい校舎のにおいに包まれ、今小の新たな歴史がスタートしました。教室が増えました。憩いの場、交流の場が増えました。まちを見渡せる窓やバルコニーが増えました。回廊型(口の字)の校舎で出合いが増えました。そして笑顔が増えました。使いこなすにはまだまだ時間を要する新校舎ではありますが、子どもたちとともに元気が一番を支える「みんなの居場所」を育てていきたいと思います。保護者や地域の皆様には、今小元気っ子プラスや PTA 活動、授業参観や懇談会など、様々な機会に今小を訪れ、校舎内をたくさん寄り道、探検していただきたいと思います。そして子どもたちの活躍を支え見守っていただきながら、新校舎を思う存分味わっていただきたい、活用していただきたいと思います。

さて、私はこの夏、一つの小さな挑戦を行いました。家庭での野菜づくりです。きっかけはゴールデンウィーク前、ひよんなことからピーマンの株が一つ、我が家にやってきたことでした。家族とともにナスを二株、万願寺とうがらしを一株、ピーマンを一株、そして空心菜を育てることにしました。土づくりや支柱の立て方、摘花や追肥、そして日々の水やりで株の成長を促します。時折かすめる台風に茎が折れやしないかとビクビクする自分を通して、農家の方々のご苦労を想像しました。お盆辺りになってナスは 40 個、万願寺とうがらしは 70 個、ピーマンは 15 個、空心菜は 6 回の収穫をすることができました。自分で育てた野菜はよりおいしく感じるものです。様々な調理の仕方で味わってきたある日、新たな挑戦を思いつきました。

「これらの野菜と自分で釣ってきた鯊(ハゼ)をてんぷらにしてそばを食べる！」

毎年、夏にハゼを釣る場所は決まっているので釣果を期待し、勇んで始発電車で釣行しました。結果は 2 時間余りで 20 匹。まあまあの釣果を携え、帰宅後、早速調理開始です。ハゼをさばくことも含め、下ごしらえから、揚げまで自分でやります(もちろん片付けも)。完成した「野菜とハゼの天ぷらそば」は家族にも大好評でした。野菜作りの挑戦は 10 月まで続きます。

何かをきっかけにスタートした活動が新たな取組へつながり、知識や経験、そして生活を豊かにしていきます。どんなに小さなことでも、そこで味わう喜びや充実感はかけがえのないものです。日々多くの出来事に出合う子どもたちにも、改めて、豊かさを獲得する学びの楽しさを味わわせたいと思います。

まだまだ酷暑は続きます。夏休み前から、子どもたちのアイスリング等を再冷却して下校前に返却できるよう、専用の冷凍庫を 4 台購入しました。水分補給や WBGT(暑さ指数)による活動のコントロールにも努めていきます。それでも熱中症は油断できません。子どもたちの元気が一番を体調管理からも進めていしましょう。引き続き、今小へのご支援をよろしくお願いいたします。

ちなみに来年はそばも自分で打ってみようかと企んでいます。